

第七十九回 帝國議會衆議院

所得稅法中改正法律案外十七件委員會議錄(速記)第十二回

前會申上ゲテ置キマシタ通リ、若シ簡單ナ
ル質問ガアレバ之ヲ許スト云フコトニ御決
定ヲ願ツテ居リマスガ、小川郷太郎君竝ニ
岡本實太郎君ヨリ簡單ナ質疑ヲ致シタイト
云フ御申出ガアリマスカラ之ヲ許スコトニ
致シマス——岡本實太郎君

○岡本委員 廣告稅ノ取扱方ニ付テ御伺ヒ
致シタインデアリマス、具體的ニ申セバ、
簡單ナ例ガ想像出來マス、法案ニ依ツテチ
ラシ千個二十錢ト云フ稅ガ付イテ居ツタカ
ト思ヒマスガ、稅務署ノ所在地ヲ離レルコ
ト十里、十五里或ハ二十里ト云フヤウナ
遠方ノ山村僻地ニ可ナリチラシヲ配ルコト
ガアルグラウト思ヒマス、現ニ吾々ガナス
時ニ於キマシテモ、選舉ノ時ニハ、是ハ公
ノ選舉ニ要リマセヌガ、選舉以外ニ議會報
告トカ或ハ其ノ他ノ演說會ヲナス時ニ、斯
カル僻地ニチラシヲ配ルノニ、ワザ／＼人
夫ヲ傭フノモエライノデ、其ノ附近ノ子供
位ヲ使ヒマシテ配ルコトガアリマス、僅カ
二十錢ノ稅ヲ稅務署ノ所在地マテ行ツテ
夫ヲ傭フノモエライノデ、其ノ附近ノ子供
位ヲ使ヒマシテ配ルコトガアリマス、之ヲ承リ
タイ

○松隈政府委員 御答ヘ申上ゲマス、廣告
稅法第一條第二種第三號ノ廣告、即チチラ
シ等ニアリマスルガ、其ノ納稅義務者ハ第
五條ニ第二種第三號ノ廣告ニ對スル廣告稅
ハ同號ニ掲タルモノヲ作製スル者ヨリ、之
ヲ徵收ス、斯ウ云フコトニ相成ツテ居リマ
ス、大體ニ於キマシテ、チラシ類ヲ作製致
シマスル者ハ印刷業者デアルト思ヒマス、
其ノ印刷業者ヲ徵收義務者ニ致スノフデアリ

マス、業者ハ廣告主カラ印刷ノ依頼ヲ受ケ
ル質問ガアレバ之ヲ許スト云フコトニ御決
定ヲ願ツテ居リマスガ、小川郷太郎君竝ニ
岡本實太郎君ヨリ簡單ナ質疑ヲ致シタイト
云フ御申出ガアリマスカラ之ヲ許スコトニ
致シマス——岡本實太郎君

○岡本委員 廣告稅ノ取扱方ニ付テ御伺ヒ
致シタインデアリマス、具體的ニ申セバ、
簡單ナ例ガ想像出來マス、法案ニ依ツテチ
ラシ千個二十錢ト云フ稅ガ付イテ居ツタカ
ト思ヒマスガ、稅務署ノ所在地ヲ離レルコ
ト十里、十五里或ハ二十里ト云フヤウナ
遠方ノ山村僻地ニ可ナリチラシヲ配ルコト
ガアルグラウト思ヒマス、現ニ吾々ガナス
時ニ於キマシテモ、選舉ノ時ニハ、是ハ公
ノ選舉ニ要リマセヌガ、選舉以外ニ議會報
告トカ或ハ其ノ他ノ演說會ヲナス時ニ、斯
カル僻地ニチラシヲ配ルノニ、ワザ／＼人
夫ヲ傭フノモエライノデ、其ノ附近ノ子供
位ヲ使ヒマシテ配ルコトガアリマス、僅カ
二十錢ノ稅ヲ稅務署ノ所在地マテ行ツテ
夫ヲ傭フノモエライノデ、其ノ附近ノ子供
位ヲ使ヒマシテ配ルコトガアリマス、之ヲ承リ
タイ

○松隈政府委員 御答ヘ申上ゲマス、廣告
稅法第一條第二種第三號ノ廣告、即チチラ
シ等ニアリマスルガ、其ノ納稅義務者ハ第
五條ニ第二種第三號ノ廣告ニ對スル廣告稅
ハ同號ニ掲タルモノヲ作製スル者ヨリ、之
ヲ徵收ス、斯ウ云フコトニ相成ツテ居リマ
ス、大體ニ於キマシテ、チラシ類ヲ作製致
シマスル者ハ印刷業者デアルト思ヒマス、
其ノ印刷業者ヲ徵收義務者ニ致スノフデアリ

○岡本委員 私ハ是デ宜シウゴザイマス
○勝委員長 ソレデハ小川君

○小川(郷)委員 此ノ增稅案ニ付キマシテ
ハ、質問應答ガ交サレマシテ、モウ殆ド言
フコトハナイコトニナツテ居リマスガ、私
ハ最後ニ少シク私共ノ意見ヲ述べテ政府ノ
之ニ對スル考へ方ヲ聽イテ置キタイト思フ
ノデアリマス、ト申シマスノハ、翼賛議員
コトニナリ、勞働トシテハ各人ガ皆働く力
行ケバ非常ニ大キナ稅額ニナルヲデアルカ
ラ、少クトモ斯ウ云フ風ニ稅制ヲ組立テ
リマス、隨ヒマシテ業者ハ、一々デハナク、經
メテ翌月納メマスルカラ、或ル程度稅務署
カラ距離ノアル所ニ營業致シテ居リマシテ
モ、左程ノ面倒ハナイノデハナイカト思ヒ
マス、唯個人ノ場合アリマスルト、業者
ノヤウニ纏メテ翌月納メルト云フヤウナコ
ドデアリマセヌカラ、手數ガ割合ニ億劫ダ
ト思フノデアリマス、サウ云フコトモ考へ
マシテ、且ツ個人ノ致シマス場合ハ、極メ
テ僅カノ枚數ヲ狭イ範圍ニ配ル程度ノモノ
デアラウトモ考へマシテ、文字ノ上カラ申
ド云フ場合ニ於キマシテハ、作製スルト云
フノミ入ラヌコトハナインデアリマスケレ
ドモ、大體個人ガ自ラ手デ書イタリ、或ハ
手デ書クコトヲ略シマス爲ニ贋寫版等デ刷
ツテ廣告ヲ致シマスト云フ場合ニ於テハ、
課稅ヲ致サナイ取扱ニ致シタイト存ジテ居
リマス、尙ホ其ノ場合ニ於テモ、業者ガ自
分ノ爲ニヤル、チラシヲ印刷スルコトヲ業
トシテ居ル者ガ自分ノ爲ニ廣告ヲシタト云
フヤウナ場合デアレバ、是ハ課稅ヲ致シタ
ク、其ノ運用方法デアリマス、之ヲ承リ
タイ

○岡本委員 私ハ是デ宜シウゴザイマス
○勝委員長 ソレデハ小川君

○賀屋國祐大臣 戰時ニ於キマシテ必要ナル國費ヲ國民ノ負擔ニ依ツテ作ルト云フコトガ、稅ノ第一義デアルト云フ御説ニ拜承致シマシタ、御尤モニ存ジマズ、國民ハ皆兵デアル、皆稅ヲ納メル、此ノ根本ノ精神ハ全ク御同感デアリマス、負擔ノ均衡ト云フコトハ稅制ノ上ニ於テ極メテ重要ナコトデハアリマス、併シナガラ戰時ニ於テハ負擔均衡ヲ至上ノ主義トシテノミ守ツテ行クト云フコトハ、強チ適切デナイト私ハ存ジテ居リマス、御説ニ付キマシテハ、其ノ實行ニ付キマシテ尙ホ今後能ク研究シテ參りタイト思ヒマス

○小川委員 大藏大臣ノ考へ方デアリマスト、此ノ日本ノ國稅、或ハ地方稅ヲ通ジマシテ戰時ノ色彩ヲ帶ビタ稅制ヲ打立テル餘地ガ相當アルノダラウト思フ、此ノ委員會ノ席上デモ、地方稅ヲモウ少シ伸縮スル餘地ガアルナイト云フヤウナコトカラ、市民稅ノ御議論モアツタヤウデアリマス、從來ノ經緯モアリマスケレドモ、私ハ今ノヤウナ立場カラ見マスルト更ニ檢討ノ餘地ガアルダラウト思フ、是ハ地方稅トンデ宜イカ、國稅トシテ宜イカ知リマセヌガ、兎ニ角戦時下ニ於テ國民ノ負擔ヲ如何ニナスベキ方ト云フ點ニ付テ、其ノ根本ノ考へ方カラ割出シテ、具體的ニ色々ノ考究ノ餘地ガアルト思フノデアリマス、段々大藏大臣ノ考へ方ヲ承リマシタノデ、其ノ方針デ更ニ調査サレンコトヲ望ミマス

尙ホモウ一ツ達ツタ角度デゴザイマスガ、何分大キナ戦爭デアリマスカラ、大キナ稅ガ要ルノデアリマシテ、今日マデノ増稅ノ案ヲ見マスルト、大體ニ於テ稅率ヲ上ゲルトカ、多少稅種ヲ擴張シタノモアリマ

スケレドモ、今度ノ直接税ノ増税案ト云フモノハ、分類所得税ノ税率ヲ動カシタトカ、或ハ其ノ他免稅點ヲ低メテ行クトカ云フヤウナ、極メテ技術的ニ簡單ナ方法ヲ執ツテ居ラレルヤウデアリマス、ソレカラ十七議會ニ出マシタ間接税ノ増徴ニ付キマシテモ、多少ハ稅種ノ擴張ヲ見タ所モアリマスケレドモ、大體此ノ稅率ヲ動カシテヤルト云フヤウナ狙ヒガ見エテ居ルノデアリタヤウニ、此ノ直接税ノ方テ分類所得税ノ税率ヲ高メテ増税ヲ圖ルト云フコトハ、ソレハ政府委員ノ方カラ御答ヘニナリマシタノデアリマス、ソレデ稅率ヲ動カジテ、ドンヽ＼高メマシテモ、ソレハヤハリ限度ガアルノデアリマス、ソレデアリマスカラ今前段ニ申上ゲマシダヤウナ趣旨ヲ貫ク上ニ於ギマシテモ、餘地ノアルモノハ益々稅率ヲ上げテヤツテモ宜シウゴザイマスケレドモ、モツト他ノ方面ニ工面ヲスル必要ガアルノデハナイカト思フ、殊ニ斯ウ云フ大キシテソレヲ集メテ見レバ非常ニ大キナ額ニナルト云フヤウナモノモ能ク摑ミマシテ、知ラズ識フヤウナモノモ能ク摑ミマシテ、知ラズ識リマセヌガ、ソレト同時ニ今ノヤウナ立場デ行キマスト、間接税ヲ相當ニ増徴スル、或ハ間接税ト云フヨリハ流通税ト云フヤウナモノヲ體系ヅケテ行クノガ宜イノデハナ

ト、唯嗜好品デアル酒トカ、煙草トカ、砂糖トカ云フヤウナ、少々ノモノニ税ヲ課ケルコトニナツテ居ルノデアリマシテ、是ハ幾ラ率ヲ上ゲマシテモ、自ラソコニ限界ガアルト思フノデアリマス、ドウシテモ消費稅ト申シマスナラバ消費稅ノ品種ヲモウシリ擴張シテ、總デノ人ガ稅ヲ擔フ、サウシテ總テノ人ガ知ラズ識ラズノ間ニ稅ヲ背負ツテ行クト云フ趣旨ヲ貫クコトガ必要デヤナイカト考ヘルノデアリマス、ソレハ間接稅ト云フコトデ言ヘバサウデアリマスガ、世ニ所謂流通稅ト云フモノハ——間接稅ト云フモノハ色々々見方モアリマセウガ、此ノ流通稅ニ付テ所有權ノ移轉トカ取引トカ云フヤウナモノニ稅ヲ課ケルト云フコトニナレバ、極メテ輕微ナモノデアツテモ額が多クナツテ來マシテ、戰時稅ト致シマシテハ相當ナル效能ヲ發揮スルモノデアル、外國ノ立法ニ於キマシテモ、サウ云フコトヲ躊躇採用シテ居ルヤウニ思フノデアリマス、日本ノ物品稅ト云フモノハ一寸ソレニ似テ居リマスケレドモ、元々奢侈稅ト云フ觀念カラ出テ來タモノデアリマス、ソレヲ大分擴張セラレタヤウデアリマシタケレドモ、昔ノ歴史ニ因ハレテ奢侈品デナイモノマデ稅ヲ取ルヤウニナリマシテモ、ソコニ何カ制約サレルヤウナモノガアリマシテ、物品稅ノ發達ガ十分ニ出來テ居ナイヤウニ思フノデアリマス、ソレデアレバイツソノコト是ハ改組致シマシテ、外國ニモ例ノアリマスヤウニ賣上稅、或ハ取引稅デモ宜シウゴザ品稅ノヤウナ大キナ稅率デナイモノヲ課ケテ、多クノ者カラ取ツテ稅額ヲ大キクス

ル、斯ウ云フ風ニスペキヂヤナイカ、即チ
賣上稅ヲ中心ニシテ或ハ印紙稅トカ登錄稅
其ノ他所謂流通稅ト云フヤウナ大キナ建物
ヲ持ヘル、或ハ間接稅ト云フコトデ、消費
者ノ苦シイヤウナコトガアツテハイカヌト
云フナラバ、其ノ流通稅ト云フ觀念デ行ケ
バ、必ズシモ品種ヲ限ツタモノデナイト者
ヘマスカラ、此ノ流通稅體系ト云フモノヲ
立派ニ確立シテ、ソレデ非常ニ大キナ稅類
ヲ生ミ出ス、サウスレバ各人ガ皆負擔スル
ト云フ趣旨ニモ適ヒ、又購買力吸收ト云フモノヲ
コトモ出來ル、斯ウ云フコトガ必要デナリマス、
イカト思フノデアリマス、今ノ直接稅、間接
稅ト云フコトニ付テ考ヘテ見マスト、今日
回十一億五千万圓ノ直接稅ノ增徵ガアツカ
ノデアリマスカラ、七十七議會ニ六億何千
万圓ノ間接稅ノ増徵ガアリマシテモ、今日
ノ日本ノ稅制トシテハ直接稅、間接稅兩方
睨合セテ見マスト、ドウモ直接稅ノ方ニ太
分偏傾シテ居ルヤウナ憾ミガアルノデアリ
マスガ、戰時ニ於テハ私ハ間接稅ガ少クナ
クテハイカヌ、直接稅ノミニバツカラナケレ
バナラスト云フヤウニ實ハナルノデヤナイ
カト思ヒマス、斯ウ云フ點カラ考ヘマシニ要
モ、ドウシテモ日本ノ是カラ後ニ戰時ニ要
求ニ應ジテ色々々經濟、財政上ノ要望ヲ充
充シテ、稅ト云フモノヲ旨クヤツテ行クト
云フコトガ必要ト思フノデアリマスガ、サ
ウ云フ風ナ考ヘ方ハドウデアリマセウカ、
是ガ私共ガ色々々研究シタ考ヘ方ナゾデアリ
マス、政府ノ見ル所ヲ御聽キ申上ゲテ置キ
タイト思ヒマス

卷之三十一

ニ研究ヲシテ參リタイト存ジマス

○小川委員 私ハモウ是ダケニシテ置キマス

ス、國民負擔ノコトデ重大ナ事デモゴザイマスカラ、ドウカ能ク衆智ヲ盡シ御研究アツテ、一般國民ノ共ニ此ノ戰爭ヲヤツテ行クト云フ氣分ニ相應シテ、租稅ノ方面モ整ヘラレントヲ祈リマス

○勝委員長 是ニテ質疑ハ終了致シマシタ

○勝委員長 是ヨリ 所得稅法中改正法律案、法人稅法中改正法律案、所得稅法人稅内外地關涉法中改正法律案、相續稅法中改正法律案、織物消費稅法中改正法律案、物品稅法中改正法律案、電氣瓦斯稅法案、廣告稅法案、馬券稅法案、印紙稅法中改正法律案、臨時利得稅法中改正法律案、特別法人稅法中改正法律案、營業稅法中改正法律案、臨時租稅措置法中改正法律案、國庫出納金端數計算法中改正法律案、戰時災害國稅減免法案、所得稅等ノ日滿二重課稅防止ニ關スル法律案、地方分與稅法中改正法律案ヲ一括シテ議題トシテ討論ニ入りマス、討論ハ通告順ニ依ツテ之ヲ許シマス——川崎末五郎君

○川崎(末)委員 私ハ只今議題ト相成ツテ

居リマスル所得稅法中改正法律案外十七件ノ増稅額ハ、平年度ニ於テ十一億五千万圓ニアリマスガ、之ヲ昨年ノ第七十七回帝國議會ニ於テ協賛ヲ與ヘマシタ酒稅法其ノ他ノ改正ニ依リマスル、主トシテ間接稅ノ増

徵六億三千餘万圓ト合セテ考へマスルト、

平年度ニ於テ國稅ニ於テ直接稅間接稅ヲ通

ジテ約十七億八千万圓、十八億圓位ノ增稅ニ相成ツタヤウニ伺ツタノデアリマシテ、

此ノ增稅額ハ之ヲ增稅割合カラ申シマシテモ、又絕對額ト致シマシテ、昭和十七年度ニ於テ約七十一億ノ租稅收入ヲ見込シテ居ラレマスニ對比致シマスレバ、決シテ是ハ輕イ増稅トハ考へナイノデアリマス、隨ヒ

マシテ是ガ一般國民ノ頭ニ及ボシマスル負擔ハサウ輕イモノデハナイト云フコトヲ私達考ヘナクテハナラヌシ、恐ラク政府當局ニ於テモ其ノ點ハ十分ニ御考ヘニナツテ居ラレルコトト思フノデゴザイマス、併シナガラ此ノ增稅ガ何ガ爲ニ必要デアツテ、下ノ方面ニ充當サルベキモノデアルカト云フコトヲ考ヘマスレバ、少クトモ昨年ノ十二月八日ニ宣戰ノ大詔ガ渙發サレマシテ、吾ハ英米ヲ相手ト致シマシテ、眞ニ國運ヲ賭シテノ一大決戦ニ至ツタノデアリマシテ、ソレガ爲ニ要スル經費ト云フモノハ、凡ユル工面ヲシテ吾々ガ出サナクテハナラヌ、負擔ヲシナクテハナラヌ、戰爭ニ勝ツ爲ニハ生命モ財產モ、國民ハ總テヲ舉ゲテ御奉公シナケレバナラヌコトハ言フマデモナイコトデアリマシテ、國民總テ此ノ點ヲ能ク覺悟シ自覺致シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ今回ノ增稅ニ當リマシテモ、各案ノ内容ニ付キマシテ、各稅ノ稅率

其ノ他ニ付キマシテハ、是ハ借越デハゴザイマスケレドモ、政府ノ原案其ノモノガ、納稅ヲスル側カラ言へバ、完全無缺ナリトハ私ハ云フ自覺ヲ益、強クセシメル意味カラ申シマシテ、サウ云フ御方針ヲ御執リニナツタ方ガ宜クハナイカ、之ニ依ツテ眞ニ吾々モ一億一心、御國ノ爲ニ御奉公シテ居ル、斯ウデアリマスガ、是ガ第一點デアリマシテ、此ノ意味ニ於テ吾々ハ飽クマデモ納稅者ガ普遍化スルコトガ必要デアルト思フノデア

トヲ捨テテ、今ハ唯戰爭ニ勝ツ爲ニ政府ヲ支持シ、此ノ聖戰ヲ完遂シテ戴キタノ爲ニ、吾々ハ此ノ增稅案ニ對シマシテ雙手ヲ

舉ゲテ贊成ヲ致ス次第デアリマス、就キマ

シテハ、之ニ關聯シテ、二ノ點ヲ私ハ申述

ベテ、希望ナリ或ハ政府ニ對シテ、場合ニ依レバ御留意ヲ願ヒタイト思フコトガアル

ノデゴザイマス、只今先輩小川先生カラ戰

時ニ於ケル增稅ノコトニ付テハ、我方賛

同盟ニ於テノ大體ノ考へ方ヲ御開陳ナラレ

マシテ、ソレニ對スル大藏大臣ノ答辯ヲ伺

ヒマシテ、此ノ點大イニ意ヲ安ンジ、意ヲ

強ウスル點ガアルノデゴザイマス、隨ヒマ

シテ私ノヤウナ若輩ガ敢テ蛇足ヲ加ヘ、之ヲ重複シテ申上ゲルコトハ差控ヘベキモノ

デアルト思フノデアリマスルガ、併シナガ

ラ一言ダケ私モ此ノ點ニ付キマシテ愚見ヲ

申述ベテ、重ネテ大藏大臣ノ御留意ヲ御願

ヒ致シタイト思フノデアリマス

其ノ第一點ハ、小川先生モ仰セラレタ通

リ、私達モ此ノ戰時ノ財政、殊ニ戰時ニ於

ケル租稅ノ對策ト致シマシテ、國民ハ一方

ニ於テ身ヲ犠牲ニシテ生命ヲ差上げ、御奉

公致シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ租

稅ノ點ニ於キマシテハ、國民ハ總テ稅金ヲ

納メル、國民皆納稅スベキモノデアル、此

ノ趣旨ヲ飽クマデモ徹底シテ戴イテ、一人

トシテ租稅ヲ免レル者ガナイヤウニシタ方

ガ宜クハナイカ、之ニ依ツテ眞ニ吾々モ一

億一心、御國ノ爲ニ御奉公シテ居ル、斯ウ

ノ引下ハ、是ハ一部ニ於テハ議論ガアルカ

モ知レマセヌケレドモ、大體ニ於テ此ノ方

ニ勤勞所得ニ對スル免稅點、扶養控除ノ引

下ノ如キ、或ハ不動產ニ對スル免稅點

ノ引下ハ、是ハ一部ニ於テハ議論ガアルカ

モ知レマセヌケレドモ、大體ニ於テ此ノ方

針ヲ是認スル者デアリマス、唯此ノ場合ニ

於テ、不動產ニ對シテハ是ハ免稅點デナ

免稅額デアル、片方ハ扶養控除デアル、此

ノ關係ガ實際ノ納稅者ニ於テ如何ナル差別

ガアルカト云フコトハ、稅務當局ニ於テハ

十分御承知ノ點デアリマス、果シテ其ノ點

カラ言へバ不動產所得ニ對スル二百五十圓

リマス、此ノ趣旨ハ直接稅ニ於テモ間接稅ニ於テモ同様デアリマスルガ、間接稅ノ如

キニ於キマシテハ、一層此ノ趣旨ニ於テ、

從來所謂間接稅ハ、兎モスレバ是ガ大衆課

稅デアルト云フコトニ於テ、社會政策上其

ノ他ノ方面カラ考へマシテ、政府ニ於テモ

亦吾々議會ニ於テモ、間接稅ノ增徵ハ大衆

課稅デアル、大衆ノ反感ヲ招イテハ困ル、

大衆ヲ困ラシテハ困ル、斯ウ云フ善イ意味

ニ於テモ惡イ意味ニ於テモ、動モスルト遠

慮勝チデアツタ、其ノ結果トシテ我が國ノ

今マデノ租稅ノ方カラ申シマスト、直接稅

ト間接稅トノ稅收ノ割合ガ、果シテ均衡ヲ

得テ居ツタカドウカト云フコトモ一つノ問

題デアル、過去ハ問ヒマセヌガ、私ハ先程

申シタ意味ニ於テ、此ノ戰時ニ於テハ納稅

者ヲ普遍化スルト云フ意味ト、國民ガ總テ

申シタ意味ニ於テ、此ノ方面カラモ御

國ニ御奉公ラスル、斯ウ云フ意味ニ於テ、

私ハ躊躇スルコトナク必要ナル場合ニ於テ

ハ、間接稅ニ於テモ更ニ餘地アルモノニ對

シテハ課稅ヲ增徵スベキモノデアルト思フ、

又直接稅ニ於テモ同様ナ意味ニ於テ、私ハ

今回ノ提案ニ於キマスル分類所得稅ノ、殊

シテハ課稅ヲ增徵スベキモノニ付スル思フ、

ニ勤勞所得ニ對スル免稅點、扶養控除ノ引

下ノ如キ、或ハ不動產ニ對スル免稅點

ノ引下ハ、是ハ一部ニ於テハ議論ガアルカ

モ知レマセヌケレドモ、大體ニ於テ此ノ方

針ヲ是認スル者デアリマス、唯此ノ場合ニ

於テ、不動產ニ對シテハ是ハ免稅點デナ

免稅額デアル、片方ハ扶養控除デアル、此

ノ關係ガ實際ノ納稅者ニ於テ如何ナル差別

ガアルカト云フコトハ、稅務當局ニ於テハ

十分御承知ノ點デアリマス、果シテ其ノ點

カラ言へバ不動產所得ニ對スル二百五十圓

ヲ百五十圓ニスル、或ハ事業所得ノ基礎控除ノ引下ト云フコトモ、是ガ納稅者ニドウ響クカト云フコトハ、是等モ多少研究ノ餘地ガアリハシナイカト思フノデアリマス、今回ハ是認ハ致シマスケレドモ、又サウ云フ意味ニ於テ不動産所得ニ對スル分類所得稅ノ課稅ノ如キ、勤勞所得ニ對スル課稅ト比較致シマスレバ、果シテ是ガ均衡ヲ得タモノデアルカト云フコトモ考ヘナケレバナリマセヌガ、要ハ私ハサウ云フ區々タルコトヨリモ租稅ヲ普遍化スル、一人デモ國民全部ガ分ニ應ジテ稅金ヲ負擔スル、斯ウ云フ意味ニ於テモツト普遍化スルヤウニ考ヘテ貰ヒタイト思フノデアリマス

尙ホ今回ノ增稅ニ依ツテ將來ノ見透シハドウカト云フコトモ御伺ヒ致シタイノデアリマスルケレドモ、恐ラク私ハ將來此ノ增稅ニ依ツテ、十八年度以降ニ於テ增稅ナシニ戰費ヲ賄ヒ、戰時財政ノ運營ヲシテ行カレルガト思ヒマスレバ、恐ラクハ更ニ來年度ニ於キマシテ莫亦增稅ノ問題ガ起キヌトモ限ラナイシ、又起ルコトハ必然的デアルト考ヘナクテハナラヌ、斯ウ考ヘマスルト、此ノ稅制改革以來三、四年シカナリマセヌガ、現在ノ稅制ニ依ツテ唯稅率ヲ變更スルト云フコトノミニ依ツテ、果シテ是ガ將來巧ク運用シテ賄ヘ、而シテ增收ノ目的ガ達シ得ルカト云フコトヲ考ヘマスルト、場合ニ依ツテハ所謂戰時租稅對策ト致シマシテ、悪イトハ申シマセヌガ、現在ノ稅制ニ戰時ト云フ意味ヲ加味シテ根本的ニ再檢討ヲ致ス必要ガアルノデハナイカト思フノ稅、直接稅ノ均衡ヲドウスルカト云フコト

ハ、能ク御考慮願ツテ、ソレヲ按配シテ戴キタイト思フ、例ヘバ具體的ニ一例ヲ申上ゲマスレバ人頭稅ノ如キモ、極ク少額ノ人頭稅ノ如キモノモ、戰時中ニ於テハ考究ズベ或ハ流通稅ノ中デモ、一例ヲ申シマスレバ、馬場財政以來問題ニナツタ賣上稅、物品稅ノ何レヲ取捨スベキカト云フヤウナコトモ私ハ御考ヘヲ願ツテ、或ル場合ニ於キマシテハ、私達ハアノ當時ハ財產稅ノ如キ、賣上稅ノ如キハ、其ノ當時ノ實情カラ申シマスレバ如何カト考ヘ、寧ロ反對的ノ考ヘヲ持ツタノデアリマスルケレドモ、此ノ戰時下ニ於キマシテハ、是等モ既往ノ行拂リニコダハラズシテ、極ク白紙ニ立還ツテ、國家ノ稅收ヲ上ゲル爲ニ考ヘラルベキ一ツノ問題デハナイカト思フノデアリマスルカラ、能ク其ノ點ヲ御考ヘ願クタイト思フノデアリマス尙ホ斯ウ云ツタ意味ニ於キマシテ、稅デハアリマセヌケレドモ、或ハ浮動購買力ヲ吸收スルト云フヤウナ意味カラ考ヘマシテモ、例ヘバ富錢ノ如キ、是ハ大藏大臣モ曩ニ同僚議員ノ質問ニ對シテ、考慮研究サレツツアルト云フコドヲ伺ヒマシタガ、是等モ私ハ十分ニ眞面目ニ實行的ニ御考ベ願ヒタイト思フ一ツノ事例デゴザイマス尙ホ今回ノ地方分興稅ノ改正案ニ付キマシテ、私達異存ハアリマセヌガ、地方稅關係ニ付デ一言内務當局ナリ大藏大臣ニ希望的ノ意見ヲ申述べテ、御留意ヲ仰イデ置キタイト思フノハ、質問中ニモ同僚モ私モ一言附加シテ御尋ネ致シタ次第デアリマスルガ、此ノ支那事變勃發以來、殊ニ昨年ノ大東亞ノ大戰爭ニ入ツテカラト申シマシテモ、現在ヲ考ヘ將來ヲ思ヒマスルト、地

方ノ財政ト云フモノハ年々月々日々ニ膨脹シテ、ドウシテモ支出シナケレバナラズ、經費ト云モノハ、相當ニ増加シテ行クコトハ是ハ疑コトノ出來ナイ事實デアル、而モ其ノ財源ハ如何ト申シマスレバ、地方ノ財源ハ國ノ財源ト違ヒマシテ、極メテ制限サレタ範囲内ニ於テ、極メテ制限サレタ稅源シカ持ツ居ナイノデアリマスカラ、此ノ極ク平常的經濟的ナサウ云フ財源ノミニ依ツテ、斯ム云フヤウナ臨時ノ費用ヲ支拂サスト云フトハ、ソコニドウシテモ無理ガ起ツテ居ル、其ノ無理ガ何處デ「カバ」サレテ居テ知カモ知レマセヌケレドモ、稅以外ノ寄附金其ノ他ノ名義ニ依ツテ、名前ハ寄附其ノ他ノ自由意思ニ依ル出捐ノ名義デアリマスルガ、事實ニ於テハ、是ハ國稅ナリ地方稅ト同ジヤウナ、殆ド強制的、割當的ニ徵收サレテ居ル、是等方段々殖エテ來ル、又莫ニノ中ニ於テ制限課率ノ如キハ、當初稅制正ノ當時ニ豫想ダモシナカツタヤウナ大ニイ制限外ノ率ヲ課セザルヲ得ナイヤウニツタ、是等ハ同僚ノ森君カラモ指摘サタヤウデアリマシテ、私達モ大體ニ於テ森君ノ指摘サレタ事實ニ付テハ、中央當局ニ於テモ十分ニ御承知ヲ願ツ置キタイ、是等ニ付テモ私ガ國稅ニ於テ上ゲタト同様ニ地方稅ニ於キマシテモ、當時ト事情ガ變ツテ居ル以上ハ、現在ノ事情ニ即シテ地方分與稅其ノ他ノ地方稅ノ稅制ニ付テ、其ノ實情ニ即シテ改正スベキ所ハ、伊ノハ、ソレカト申シテ市町村民稅ノ如キ

ラレマシタル各案ハ、増税又ハ新税ノ創設
並ニ關係法令ノ調節整備ヲナン、多少ノ減
免稅ヲ行フ劃期的ノモノデアリマス、之ヲ
具サニ検討致シマスレバ、直チニ鶴呑トナ
シ能ハザルモノモアラウト思ハレマスガ、
戰時非常ノ場合、即チ大東亞戰爭ニハ飽ク
マデ勝抜カネバナラヌ今日ニ於キマシテハ、
已ムヲ得ザルモノト認メ、快ク贊成ヲ致ス
第デアリマス、仍テ政府ハ其ノ運用實施ニ
當リテ兎角陥リ易キ官權濫用ノ弊ヲ慎ミ、
無理ナ査定等ヲナシテ國民ノ忠誠心ヲ傷ツ
ケ、或ハ民力ノ涸渴ヲ招來スルガ如キコト
ナキヤウ十分ノ監督ト指導トヲ盡サレ、萬
遺憾ナキヲ期セラレントヲ希望シテ、大
乗的ニ原案ニ賛成ノ意ヲ表スル次第デアリ
マス

リマス、私ハ戰時財政經濟ノ大宗ヲ握ラル
ル大藏大臣ト致シマシテ、此ノ方針ハ妥
當デアルト考ヘルノデアリマス、ケレドモ
慾ヲ申シマスルナラバ、私ハ今ノ時代ハ單
ニ順ヲ逐ウテ起り來ル事象ヲ追掛ケテ、後
カラ財政經濟ノ政策ヲ立テルト云フコトデ
ナク、先手ヲ打ツテ財政經濟ノ根本方針ヲ
國民ノ前ニ豫メ公債スルコトガ必要ナル時
代デハナイカト思フノデアリマス、二百四
十數億ニ達シマスル所ノ龐大ナル豫算ヲ消
化致シテ行クニ付キマシテハ、私ハ獨リ租
稅ノ窓、公債ノ窓カラノミ之ヲ遺憾ナク實施
シテ行クト云フコトニハ疑問ガアルノデハ
ナイカ、サウデナクシテ今少シク新タル構
想ヲ以テ、新シイ方策ヲ樹立スル必要ガアリ
ルノデハナイカト思フノデアリマス、私ハ
此ノ點ニ付キマシテハ、本委員會ニ於キマ
シテモ大藏大臣ノ御意見ヲ伺ツタノデアリ
マスルガ、例へテ申シマスルナラバ公企業
ヲ活用スル、臨時軍事費ノ中ニモ、南方物
資ニ對シテノ工作ニ關スルモノモ織込マレ
テ居ルヤニ伺ヒマスガ、是モ其ノ現ハレデ
ハナイカト存ズルノデアリマスルガ、サウ
云フ點ニ付テ考ヘルト云フコトモ必要デア
ル、更ニ現在我ガ國民ガ極メテ惑ウテ居リ
マスルノハ、南方ノ資源ニ關シテ說カレル
コト沟ニ多クシテ、現實ノ我ガ國ノ實情ト
思フノデアリマス、南方ノ資源極メテ重
大デアリマスルカラシテ餘ル物モアリマセ
ウ、足ラナイ物モアリマセウガ、政府ハ時
間ト距離トヲ計算ニ入レテ初年度ハ斯クス
ク、第二年度ハ斯クヽ、第三年度ニ於テハ

斯ク／＼ト云フ計畫的ナル方策ヲ立テラレ
テ、之ヲ國民ノ前ニ明示サレ、本年ハ此ノ
程度デアル、來年ハ此ノ程度デアルト云フ
コトヲ示シテ、國民ニ嚮所ヲ教ヘラレルコ
トガ急務デアルト存ズルノデアリマス、今
日米英ニ對シテ戰ヒヲ宣スルマデハ國策ノ經
物動計畫其ノ他ハ私ハ嚴ニ祕密ニスベキモ
ノデアツタト信ジマス、ケレドモ日本ノ經
濟力ヲ疑ツテ居ツタ米英ヲ相手ニシテ戰爭
ニ入ツタ以上ハ、私ハ物動ノ内容其ノ他ニ
付テ必ズシモ祕密ニスベキ理由ハナイト思
フ、足ラナイ物ハ足ラナイ、餘ル物ハ餘ル
ト、堂々ト中外ニ發表シテ私ハ何等差支ヘ
ナイモノデアルド、斯様ニ考ヘルノデアリ
マス

偏頗ニ申上ゲルノデハナイノデアリマスカ
ラ、誤解ヲシナイヤウニシテ戴キタイト思
フノデアリマスガ、來ルベキモノハ是ハ獨
占資本ノ強化ト云フコトガ現ハレテ來ルノ
デハナイカ、英米佛其ノ他ニ於テ見ラレル
ヤウナ二百ノ家族、百ノ家族或ハ八十ノ家
族ト云フヤウナモノガ一國經濟ノ大宗ヲ握
ツテシマフト云フヤウナ、サウ云フコトニ對シテ
起ルノデハナイカ、サウ云フコトニ對シテ
ハ豫メ私ハ警戒ヲ要スルノデハナイカ、更ニ
増稅ガ行ハレル度毎ニ、何ト申シマシテモ、
如何ナル工作ヲ施シマシテモ、必ズ重壓ノ
掛カツテ參リマスルノハ中小企業デアリマ
ス、此ノ中小企業ノ沒落ト云フコトハ、今
日企業ノ統制其ノ他ニ於テ進ミツ、アリマス
スルケレドモ、增稅ニ依ツテ拍車ヲ掛ケラ
レルト云フコトダケハ十分ニ考ヘナケレバ
ナラナイト思フノデアリマス、增稅サレル
度ニ中小企業ガ段々没落シテ行クト云フ
コトハ、是ハ免レ難イ勢ヒデアリマス、此
ノ點ニ付テハ私ハ稅制ノ問題デハ解決シ得
ナイ問題ト思ヒマスルノデ、大藏當局、殊
ニ財政經濟ノ當局ニ於キマシテ十分ナル御
留意アルベキモノト存ズルノデアリマス
最後ニ私ハ財政需要ガ極メテ厖大ニナウ
テ參リマスルノデアリマスカラシテ、吾々
ハ喜ンデ國費ノ負擔ヲ致シマス、國民ハ心
ノ底カラ稅ニ對シテ之ヲ負擔シヨウト云フ
氣持ニ燃エテ居リマス、何等之ニ對シテ異
議ヲ挿ム者ハナイ、戰爭ニ勝ツ爲ニハ喜ン
デ稅ヲ負擔致ストハ存ジマス、ケレドモ政
治ノ局ニ當ル者トシテハ國民ノ獻身的才
氣持、犠牲的ナル精神ノミニ依頼スルコト
ナク、政治ノ運用宜シキヲ得テ、政治ノ妙
用ヲ發揮致シマシテ、是等國民ノ期待ニ副

ノ有様ニ於ケルガ如キコトカト感ジタノデ
アリマス、何サマ今ハ戰爭ヲ始メシタバ
カリデアリマス、敵ハ緒戰ニ於テ大敗ヲ喫
シマシタガ、マダ南方ニモ敵ガ居リマス、
其ノ背後ニ世界最强最富ヲ誇ル英米ノ國力
ガアリマス、私共ハ到底マダ其ノ段階ニ達
シナイト思フノデアリマス、是ハ河野委員
モ決シテ最早安全ト申シマスカ、時局ガ決
マツタヤウニ御考ヘニナツテ居ルノデハナ
イト思ヒマスガ、私共ハ實際ノ計畫ハ益々適
切周密ニ致サナケレバナラヌ、何サマ作戰
ノ進行ニ依ツテハ來年再來年ガドウナルカ
分リマセヌノデ、物動計畫ヲ公表シマスヤ
ウナコトハ、言葉ヲ露骨ニ申上ゲサセテ戴
キマスナラバ、思ヒモ及バヌ次第ト思フノ
デアリマスルカラ、率直ニ一言申上ゲサセ
テ戴キマス

○勝委員長 討論ハ終局致シマシタ、是ヨ
リ採決ヲ致シマス、各案共原案ニ御贊成ノ
諸君ハ起立ヲ願ヒマス

〔總員起立〕

○勝委員長 起立總員、仍テ各案ハ何レモ
原案ノ通リ可決致シマシタ

〔拍手起立〕

○勝委員長 一寸御挨拶ヲ申上ゲマス、當
委員會ハ去ル一月二十三日以來二週間、引
續キ十二回ノ開會ヲ見タノデアリマスルガ、
連日非常ニ熱心ナル御研究ヲ戴キマシタ、
諸君ノ御勞苦ニ對シテ深ク感謝ノ意ヲ表ス
ルト同時ニ敬意ヲ表シマス(拍手)是ニテ散
會致シマス

午後二時三十五分散會